

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 5 月 11 日 (2006.5.11)

【公開番号】特開 2000-278564 (P2000-278564A)

【公開日】平成 12 年 10 月 6 日 (2000.10.6)

【出願番号】特願 平 11-77404

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

G 0 3 B 13/02 (2006.01)

G 0 9 F 9/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/225 B

G 0 3 B 13/02

G 0 9 F 9/00 3 5 0

G 0 9 F 9/00 3 6 4 N

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 3 月 20 日 (2006.3.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】映像を表示可能な表示手段と、前記表示手段の後方から光を発する発光手段とを内包した E V F 装置であって、
 前記表示手段が画像を表示する画像表示範囲以外を遮光する遮光部材と、
 前記遮光部材に係合し前記表示手段を保持する保持ケースと、
 前記保持ケースを保持するE V F ケースと、
 前記遮光部材の少なくとも一部に設けられ、前記E V F ケースに当接する弾性部とを備えたことを特徴とする E V F 装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 7】

【課題を解決するための手段】

この目的を達成するために本発明の E V F 装置は、映像を表示可能な表示手段と、前記表示手段の後方から光を発する発光手段とを内包した E V F 装置であって、前記表示手段が画像を表示する画像表示範囲以外を遮光する遮光部材と、前記遮光部材に係合し前記表示手段を保持する保持ケースと、前記保持ケースを保持するE V F ケースと、前記遮光部材の少なくとも一部に設けられ、前記E V F ケースに当接する弾性部とを備えた構成を有している。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 9 】

【 発明の実施の形態 】

本発明は、映像を表示可能な表示手段と、前記表示手段の後方から光を発する発光手段とを内包した E V F 装置であって、前記表示手段が画像を表示する画像表示範囲以外を遮光する遮光部材と、前記遮光部材に係合し前記表示手段を保持する保持ケースと、前記保持ケースを保持する E V F ケースと、前記遮光部材の少なくとも一部に設けられ、前記 E V F ケースに当接する弾性部とを備えたことにより、ゴムで形成した従来のスペーサーを廃止できるので、E V F 装置を小型化するとともにコストダウンすることができる。

【 手続補正 4 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 3 6

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 0 3 6 】

【 発明の効果 】

以上のように本発明は、液晶表示ユニットが画像を表示する画像表示範囲以外を遮光する遮光部材に、液晶表示ユニットおよび発光ユニットを、保持部材内にて互いに付勢保持する弾性部を一体的に設けたことにより、ゴムで形成したスペーサーを廃止できるので、E V F 装置全体を小型化するとともにコストダウンすることができる。

【 手続補正 5 】

【 補正対象書類名 】 図面

【 補正対象項目名 】 図 1

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【図 1】

LCDユニット
 101 発光ユニット
 102 LCDマスク
 103 弾性部
 103a EVFケース
 105 リフレクタ
 106 トランス基板
 107 保護カバー
 108 スライド金具
 109 カイドホルダー
 110 視度調節ス
 111 アイキャッ
 112 アイキャッ
 112a 嵌合部
 112b ガイド軸
 113 ツマミホルダー
 114 ツマミピ
 115 ツマミホルダー
 116 レンズ
 117 レンズ
 118 EVF駆動基板
 119 本体ケース
 120 マイクロニ
 121 マイクロニ
 122 クッション
 123 中継基板
 124

